

< 介護・医療連携推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社 太陽メディケアサービス	事業所名	メッツ川崎ヘルパーステーション
所在地	(〒 940-0864) 新潟県長岡市川崎2丁目2478番地1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・要介護者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう生活全般にわたるケアサービスを行う。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2017 年 8 月 31 日	従業者等自己評価 実施人数	(16) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2018 年 2 月 20 日	出席人数(合計)	(14) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員(4 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員(1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員(1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者(1 人) <input type="checkbox"/> 利用者(1 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族(1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者(1 人) <input type="checkbox"/> その他(〃 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修を行い事業所の方向性について職員一人ひとりが理解できるように努める。 ・外部研修へ参加し得た情報を事業所へフィードバックしスキルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修については機会を作ることが出来ず未実施となっている。 ・外部研修の案内はしていたが希望者が無く未実施となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修、外部研修ともに未実施の為、来年度の課題としたい。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の変化、特性を細かくとらえ、他職員に発信する。他職員も積極的に情報を取り入れる能力を身に着ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数名のご利用者様に対して一定期間アセスメント、カンファレンスを細かく行い情報の発信力、情報を取り入れる能力の向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様の状態に沿った援助の構成を行うことが出来ている。今後も継続して行っていく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマル、インフォーマルサービスや包括的なサポート体制への提案ができるように地域資源について学習を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の学習には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の活用の為の学習について来年度も継続していく。 ・多職種交流あるいは研修に参加していく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 28～32)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への定期巡回サービスへの説明を行い、周知活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の求めに応じて定期巡回サービスの説明会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会は一度行ったが、ほかの町内会にも働きかけて行けるとよいのでは。 ・広報を作成し回覧板等を活用し周知活動してはどうかとご意見を頂いた。
III. 結果評価 (評価項目 33～34)	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な援助の中で目標の達成や利用者の気持ちを汲み取り、寄り添った計画を立て、援助を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一定期間特定のご利用者様に対しアセスメント、カンファレンスを細かく行い利用者のADLに合った介助を行うことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のご利用者様一人ひとりに寄り添った計画、援助を実行できるよう努める。 	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの特徴・事業所の方向性を一部理解できていない職員もいる。 ・外部研修については実施できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修を行い事業所の方向性について職員一人ひとりが理解できるように努める。 ・外部研修へ参加し得た情報を事業所へフィードバックしスキルアップを図る。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	<ul style="list-style-type: none"> ・数名のご利用者様に対して一定期間アセスメント、カンファレンスを細かく行い情報の発信力、情報を取り入れる能力の向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・期間を区切ることなくアセスメント・カンファレンスを細かく行い、ご利用者様の状態にあった計画、援助を実施する。 ・ご利用者様の状況を把握したうえで自立に向けた目標を立て、援助する。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護との連携は出来ている。 ・地域資源の学習には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマル、インフォーマルサービスや包括的なサポート体制への提案ができるように地域資源について学習を進める。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会は一度行ったが、ほかの町内会にも働きかけて行けるとよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の民生委員の方にも定期巡回サービスを周知する。 ・近隣の民生委員の方にも介護医療連携推進会議に出席いただけるよう働きかけていく。 ・広報を作成し、近隣の回覧板等で周知活動をしていく。
III. 結果評価 (評価項目 33～34)	<ul style="list-style-type: none"> ・一定期間特定のご利用者様に対しアセスメント、カンファレンスを細かく行い利用者のADLに合った介助を行うことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な援助の中で目標の達成や利用者の気持ちを汲み取り、寄り添った計画を立て、援助を行う。 ・ご利用者様の状況を把握したうえで自立に向けた目標を立て、援助する。 	

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します